

ニホントカゲの飼育

ホームガス課 森田 敏弘

皆さん、ニホントカゲってご存じですか？

実は私、この年になるまでトカゲって「ニホンカナヘビ」しか知らず、「ニホントカゲ」というトカゲがいるのを初めて知りました。

「ニホントカゲ」と「ニホンカナヘビ」の見分け方ですが、「ニホントカゲ」は鱗が金属光沢をもち滑らかで、幼体のころの尾はすごく鮮やかな虹色（？）青色をしており、成長すると青色が薄れ胴体とほぼ同系色になります。

一方、「ニホンカナヘビ」は鱗に光沢はなくザラザラしていて、全長に対して尾が長いという特徴があります。

この夏、子供がトカゲを飼いたいというので、会社の同僚にお願いし、小さくてきれいな幼体のトカゲを捕まえてもらい飼育スタートしました。

トカゲの飼育なんてしたことがないのでネットで調べ、飼育できる環境を整え数日飼っていましたが、一匹では少し寂しいと思い、もう一匹子供と捕まえに行き、今は幼体一匹と成体一匹を飼育、飼っています。

最初のころは珍しさや嬉しさで子供も面倒見てくれていましたが、ひと月もするとほったらかし…。

最初は成体はテカテカして気持ち悪い奴と思っていましたが、最近では子供より私がハマってしまい、飼育ケースのレイアウトを凝ててみたり、ピンセットで餌をあげたり、天気の良い日に飼育ケースを外に出し日光浴させたりと愛着がわいてきています。

ただ、朝の日光浴時間以外は、床材の中や隠れ家として置いたシェルターに潜ってしまい、ほとんど姿を見ることができません。だからこそ、わずかに姿を現しているときが楽しくて飽きないのかもしれませんがね。

色々調べていると、ニホントカゲを室内で飼育するには、紫外線や日光浴用のホットスポットが必要とか書かれておりますが、飼育下にいるトカゲは人馴れし、こちらの姿を確認すると餌をねだるぐらいになるらしく、かなり飼育しやすい生き物だとも書いてあったので、これからも大事に飼っていきたいと思います。



ニホンカナヘビ



ニホントカゲ

災害時に車で移動する時は

総務課 前田 光弘

今年の8月、お盆前直前に気象庁から発令された南海トラフ「巨大地震注意」は記憶に新しいと思います。その際に改めて防災意識を高め、避難場所の確認や非常食等の準備をされた方も多いのではないのでしょうか。

しかし、被災した場所が自宅や地元であれば地理にも明るく“どこを通れば帰宅もしくは移動出来る”と具体的に考え行動出来るかもしれませんが、被災した場所が初めて訪れた場所であったり遠く離れた他県であればどうでしょうか？

今回は“そんな緊急時に”ちょっと役に立つかもしれないサイトのご紹介です。

まず最初に皆さんがネットで検索をして最初に見るかもしれない？ 国土交通省のサイトからご紹介させていただきます。



【国土交通省 災害時における通行可否の情報(通れるマップ)】
<https://www.mlit.go.jp/road/bosai/toorerumap/>

さすが管轄省の発信するものだけあって非常に見やすく確実性の高い情報が記載されているのですが、残念ながらこのページにたどり着くまでが手間がかかり、失礼ながら私的には“2番目にチェックするサイト”という感じです。

続いてが本命であり、私がブックマーク（お気に入り）に登録しているサイトです。

【特定非営利活動法人ITS Japan】
<https://www.its-jp.org/>

この特定非営利活動法人ITS JapanはITS(Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム)、いわゆる人・道路・自動車の間で情報の受発信行い道路交通の最適化や事故や“災害時”における様々な問題を解決するシステムを構築運用しようとする法人です。

もの凄く簡単に説明すれば『現在、この地域で通れる道路はここですよ』とネット上に表示してくれている法人です。

その必要性和有用性から表示、更新のタイミングが非常に早く、また自動車メーカー各社やナビメーカー※で実装しているナビゲーションシステムを利用した、いわゆる「実際に通行する事が出来たデータ：通行実績」を元になっていますので、その精度と信頼性は非常に高いものです。

※本田技研工業（株）、パイオニア（株）、トヨタ自動車（株）、日産自動車（株）、いすゞ自動車（株）、UDトラック（株）、日野自動車（株）

実はこの「ITS Japan」は先に紹介した国土交通省のページ、通れるマップページの下部に情報の提供主体として挙げられている特定非営利活動法人であり、国土交通省の情報は「ITS Japan」とETC2.0の情報が元になっているという事なのです。

また、この「ITS Japan」のサイトには普通乗用車と小型トラック、中大型トラックがそれぞれ通行可能な道路が表記されており、当社のようなLPガスを配送する為のトラックが通れる道路の記載は『災害時におけるLPガス会社の役割を担うため』には非常に重要な情報となります。

最近の防災意識の高まりは防災士としての資格を持つ私からしても非常に嬉しいものですが、正直なところ日頃から常に高い防災意識を持つというのは難しいです。なので、こういうページを普段の日常で覚えて（ブックマークに入れて）おいてはいかがでしょうか。

勿論、当社アポロ興産株式会社は“災害に強いLPガスというエネルギーを扱う会社”ですので、有事の際には何よりも皆様のお役に立てるよう努力邁進してまいりますので、どうか今後ともよろしくお願い致します。